

## ～計画における目標等の設定状況について～

1. 計画期間

- 現行計画は、2016年3月末に策定し、2014年度を基準年度、2020年度を中間目標年度、2025年度を最終目標年度としている。中間目標年度である今年度計画の見直しを行っている。
- 「ごみ処理基本計画策定指針」において、「一般廃棄物処理基本計画は、目標年次を概ね10年から15年先において、概ね5年ごとに改定するほか、計画策定の前提となっている諸条件に大きな変動があった場合には見直しを行うことが適切である」とされている。

2. 計画目標

- 現行計画では、以下の7つの目標を提示している。

表 1 計画目標一覧

	2014年度 (基準年度)	2020年度 (中間目標)	2025年度 (最終目標)
1人1日あたり家庭系ごみ排出量	680グラム	659グラム	560グラム
1日あたり事業系ごみ排出量	290トン	237トン	226トン
リサイクル率 【事業系一般廃棄物減量計画書の報告値を含まない】	18.9%	20.6%	24.0%
リサイクル率 【事業系一般廃棄物減量計画書の報告値を含む】	25.2%	28.5%	32.9%
家庭系リサイクル率	19.7%	20.2%	24.9%
清掃工場搬入量	27.7万トン	25.0万トン	21.0万トン
最終処分量	2.8万トン	2.3万トン	1.7万トン

- 「ごみ処理基本計画策定指針」において、一般廃棄物処理計画の策定にあたっては、「国や都道府県の計画等における関連目標・指標等に留意すること」とされている。

## ①「廃棄物処理基本方針」（2016年9月）

- ・一般廃棄物の減量化目標（2020年度）として、「排出量」「再生利用率」「最終処分量」「1人1日あたりの家庭系ごみ排出量」の4項目
- ・上記以外のその他の目標として、食品ロス、家電4品目、使用済み小型家電に係る目標が有

## ②第4次循環型社会形成推進計画（2018年6月）

- ・目標（2025年度）は、「資源生産性」「入口側の循環利用率」「出口側の循環利用率」「最終処分量」の4項目
- ・関連する取組指標は、以下のとおり  
「1人1日あたりごみ排出量」…850グラム、「1人1日あたり家庭系ごみ排出量」…440グラム  
「家庭系食品ロス量」…2000年度の半減（2030年度目標）

## ③廃棄物処理施設整備計画（2018年6月）

- ・重点目標として、「ごみのリサイクル率」「最終処分場の残余年数」「焼却施設の発電効率の平均値」の3項目

#### ④大阪府循環型社会推進計画（2016年6月）

- ・計画目標は、国の廃棄物処理基本方針と同じく「排出量」「再生利用率」「最終処分量」「1人1日あたり生活系ごみ排出量」の4項目
- ・「成果を実感できる指標」（施策や行動指針による取組の成果を確認するためのもの）は、「1人1日あたりの資源ごみを含む生活系ごみ排出量」「生活系ごみ分別排出率」「ガラス等のみの再生利用率」「最終処分量」の4項目
- ・現在次期計画改定中であり、目標年度・目標項目についても審議中

### 3. 他政令市の目標項目設定状況

- 全ての政令指定都市が、「ごみ排出量」（資源物を含む総排出量、資源物を除く排出量など）、「家庭系ごみ排出量」、「事業系ごみ排出量」、「焼却量」（ごみ処理量など）、「リサイクル量・率」、「最終処分量・率」などから複数の目標設定されている。
- 「ごみ排出量」については、ほぼ全ての政令指定都市で、「焼却量」「リサイクル率・量」「家庭系ごみ排出量」については、約半数の政令指定都市で目標設定がなされている。
- 「リサイクル率・量」については、現行計画策定検討時（2014年度）は、17市あったが、現在（2020年度）は、10市に減少している。
- 「最終処分量」については、現行計画策定検討時（2014年度）は12市あったが、そのうち、3市が「参考指標」に変更している。
- 「その他」では、「家庭から出る生ごみ量」「食品ロス排出量」「温室効果ガス排出量」「レジ袋排出量」「乾電池排出量」「紙ごみ排出量」などを設定している。
- 施策の進捗状況を確認する「参考指標」を設定する市が増えており、2020年現在、7市で設定されている。
- 「参考指標」には、「リサイクル率」「温室効果ガス排出量」「最終処分量」のような目標と同様のものや「生ごみ量」「食品ロス排出量」「ごみに含まれる資源化可能な紙類の割合」等、具体的な設定がなされている場合が多い。
- 近年の傾向として、計画目標からの参考指標へ変更する場合やごみ量全体に関する指標ではなく、減量対象を絞った具体的な指標を設定する場合が多い。  
（例）2020年3月に改定した新潟市では、前計画での参考指標は「廃棄物分野のCO<sub>2</sub>排出量」だったが、新計画では前計画で計画目標だった「最終処分量」とその他具体的な指標を3つ追加している。

表 2 政令市計画目標一覧

	ごみ排出量			焼却（ごみ処理）量	リサイクル量・率	最終処分量	その他
	全体	家庭系	事業系				
堺市		○	○	○	○	○	
札幌市	○	○		○	△	○	○
仙台市	○	○		○	○		
さいたま市	○	○				○	
千葉市	○			○	○	○	○
川崎市	○			○			
横浜市	○						○
相模原市	○	○	○			○	○
新潟市	○	○	○		○	△	
静岡市	○	○	○				
浜松市	○				○	○	
名古屋市	○			○	○	○	○
京都市	○			○	△	○	○
大阪市	○						○
神戸市	○		○		△	△	
岡山市	○				○		
広島市	○			○		○	
北九州市		○			○		
福岡市	○				○	△	○
熊本市	○	○	○		○	○	○
合計	18	9	6	8	○10・△3	○10・△3	9

(○：目標設定項目、△：参考指標)

表 3 政令参考指標一覧

市名	参考指標
札幌市	・ <u>家庭から出る食品ロス量</u> ・ <u>燃やせるごみに含まれる紙類と容器包装プラスチックの量</u> ・リサイクル率
新潟市	・最終処分量 ・廃棄物分野のCO2排出量 ・ <u>生ごみ量</u> ・ <u>食品ロス排出量</u> ・ <u>ごみに含まれる資源化可能な紙類の割合</u>
静岡市	・1人1日あたりごみ排出量 ・1人1日あたり家庭系ごみ排出量
京都市	・再生利用率 ・資源生産性
神戸市	・発生量 ・資源化率 ・焼却量 ・最終処分量 ・温室効果ガス排出量
福岡市	・3R率 ・3R実践度 ・有害廃棄物の実践度 ・家庭ごみの容積 ・埋立処分量 ・温室効果ガス排出量
熊本市	・温室効果ガス排出量 ・ごみ分別区分の認知度に関する市民意識 ・ごみ減量やリサイクルの取組に関する事業所意識

※ 京都市、福岡市については、現在次期計画策定中であり、目標値等変更の可能性有 ※ 二重線…近年新たに追加された項目